



セコム株式会社
株主通信

12月
2011年

第51期中間報告書

2011年4月1日から
2011年9月30日まで

新商品・新施策で 一段と活性化する セコムグループ

社会やお客様からの
高まる期待やご要望に応える
セコムの取り組みについて、
社長の前田修司から
ご説明させていただきます。

セコム株式会社 代表取締役社長

前田 修司



東 日本大震災が発生したとき、セコムに対する
お客様の期待の大きさを感じたそうですね。

震災発生後ただちに社員の安否や事業所の被災状況の確認を行うとともに、全国の社員が被災地域に応援に向かい、お客様のご自宅や会社を訪問しました。そこで、私たちが思っていた以上に、セコムに対するお客様の期待が大きいことがわかりました。現地からの報告を受けて、私たちセコムにできること、「安全・安心」に関わることを、もっと広く、もっと深くやらなければいけない、という気持ちを新たにしました。

そ の思いから生まれたのが、
「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」ですね。

被災者の方が「大事な家族の写真が流された」、「銀行でお金を引き出せなくなった」、「服用していた薬がわからない」といったことで困っておられることを知り、セコムで何かできることはないかと考え、「データお預かりサービス」を提供することにしました。

これは、ホームセキュリティの操作を行うホームコントローラーに内蔵のカメラ、またはお客様のデジタルカメラなどで、ご家族の写真や預金通帳、処方箋などを撮影し、その画像をホームコントローラーに登録していただくと、自動的にセコムの「セキュアデータセンター」に画像が保管されるような仕組みです。

そ のほかに、セコムグループが提供するサービスへの
申し込みなどができる「ALL SECOMサービス」、
ご家族への伝言を表示する「伝言メモ機能」などが付加されています。
なかでも特長的な機能は「マイページサービス」ですね。

これは、セコムと提携した企業からの情報をホームコントロー

ラー上に表示できるようにしたものです。「マイページサービス」を利用すれば、提携企業はお客様が毎日、操作を行うホームセキュリティのホームコントローラーを介して、日常生活の中でお客様との関係を構築でき、お客様は商品を注文することもできます。このように、「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」は、これまでのホームセキュリティを新しいステージへ押し上げる画期的なシステムだと思っています。

秋に発売した、総合的にBCPを支援する「危機管理支援トータルサービス」は、セコムグループの総力を結集する“ALL SECOM”の成果の一つですね。

このサービスは、企業が不測の事態に見舞われたときでもBCP(事業継続計画)を可能にする支援サービスです。事前準備・災害発生・初動対応・復旧といったフェーズごとに、セコムグループでできる支援サービスが結集されています。この商品化を通して、改めてセコムグループは、さまざまなサービスを提供していかなくてはならないと、決意しました。

このほか、セコム(株)、セコム医療システム(株)、セコムホームサービス(株)のグループ3社のサービスを組み合わせ、離れて暮らす高齢者を見守るサービスを開発するなど、セコムグループの力を結集することで新たな発想が生まれ、その発想を“ALL SECOM”でスピードを持って商品化できるようになりました。

今年上半期のトピックスを挙げてください。

昨年、市場に投入した日本初の強盗自動検出システム「インテリジェント非常通報システム」や屋外侵入監視センサー「レーザーセ

ンサー」の販売に力を入れてきました。

国際事業も好調で、イギリスではセコムPLCが同国の四大メガバンクであるRBS銀行の支店約2,000店舗のセキュリティを受注。同じくメガバンクであるHSBC銀行の支店約1,500店舗にセキュリティを提供していた会社を買収し、金融機関向けセキュリティ市場に本格参入しました。

また、ニュージーランドで、セキュリティ機器の販売および保守点検サービスを提供していたガードオール・ニュージーランド社を買収し、新たにニュージーランドに進出しました。セコムオーストラリア(株)とともに、オセアニア地域の「安全・安心」の提供に努めてまいります。

このほか、(株)住生活グループと業務提携し、「住まい」と「暮らし」に関するお困りごとを解決する、国内初の生活サポートサービス「トータルライフパートナー」を提供することにしました。

株主の皆様にご挨拶を申し上げます。

2012年3月期の第2四半期は、売上高・営業利益・経常利益ともに前年同期を上回ることができました。創立50周年を迎える来年も、セコムグループがより一体となり、“ALL SECOM”で新サービスを創出するなど、新しい施策を次々と打ち出し、現在の勢いを加速させていきたいと考えています。

また、来年5月からは仙台を皮切りに、東京・名古屋・大阪・福岡で、近未来のセコムを体感できる「セコムフェア」を開催します。「セコムはこんなこともできるのか!」と驚いていただけることでしょう。

創立50周年を一つの通過点として、セコムがどう変化し、発展していくか、期待を持って見守っていただければ幸いです。

多様なフィールドで社会やお客様が求める「安全・安心」を提供

セキュリティサービス事業

セコム(株)を中心に、企業・家庭・個人向けセキュリティサービスを提供しています。



企業向けには、遠隔画像監視システム「セコムAX」をはじめとするオンライン・

セキュリティシステム、「トータックスZETA」などの大規模施設に対応したシステム、監視カメラシステムなどの安全商品のほか、常駐警備や現金護送を提供。これらは、店舗・オフィスビル・金融機関・学校・工場・空港・大規模施設など、社会のさまざまな所に普及しています。

家庭向けには、「セコム・ホームセキュリティ」をはじめ、顔検知機能が内蔵された「セキュリフェースインターホン」などの安全商品を提供。そして今年12月には、お客様の大切な写真や個人情報をお預かりする機能を付加した「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」を発売する予定です。

個人向けには、屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」を提供。位置情報検

索と緊急通報によって、屋外を移動する人や車、物などの安全を守ります。

これからも、社会動向を先読みし、社会やお客様の期待に応えるサービス・システムを開発し、提供していきます。

防災事業

能美防災(株)では、ビル・プラント・トンネル・文化財・船舶・住宅などに、火災報知設備や消火設備などの防災システムを提供しています。

近年は、オフィスビルなどの老朽化に伴い急増する火災報知設備のリニューアル需要の受注に力を注ぐとともに、蓄積した高い技術力と豊富なノウハウを生かし、新たな防災システムの創造に取り組んでいます。



また、中国や東南アジア、インドなどでも積極的に防災事業を展開しています。

メディカルサービス事業

セコム医療システム(株)を主体に、高品質なメディカルサービスを提供しています。

<在宅医療分野>では、訪問看護と薬剤提供サービスが高く評価され、ご利用者が増え続けています。6月には、訪問看護と介護を一体的に提供する在宅複合サービスの拠点「セコム在宅総合ケアセンター久我山」を開設しました。

<介護分野>では、訪問介護サービスや通所介護サービスを提供。4月には通所介護サービスの4つ目の拠点となる「セコムシニア倶楽部藤が丘」をオープンしました。

<健康・予防分野>では、「セコムの健康食品」を、より高い安全性と品質を追求した新ブランド「からだViBI」にリニューアルし、拡販に取り組んでいます。

<ネットワーク医療分野>では、遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」の普及拡大をはかるなど、「地域に根ざした医療」の実現に向けて着実に前進しています。

このほか、病院運営支援やシニアレジデンスの運営、医療機器の販売など、包括的なメディカルサービス事業を展開しています。

保険事業

セコム損害保険(株)では、ホームセキュリ



ティを導入されている場合には保険料が安く
なり、お客様が補償内容を自由に選べる火災
保険「セコム安心マイホーム保険」や、先進医
療をはじめ自由診療による治療費までも実額
補償するがん保険「自由
診療保険メディコム」、
事故現場への急行サー
ビス付き自動車保険「セコム安心マイカー保
険」など、セコムグループならではのユニーク
な商品を販売。

万が一の備えとして、お客様に、より確かな
「安全・安心」を提供しています。

地理情報サービス事業

(株)パスコでは、人工衛星や航空機で撮影
した画像を処理・解析し、お客様の使用目的
に応じて必要な情報を付加した地理空間情
報サービスを提供しています。

国内では官公庁や企業にサービスを提供。
また、欧州・アジア・北米・南米のグループ会社
を通じて、国際市場でも事業を展開しています。



東日本大震災では迅速な
状況把握のため、人工衛星
などの画像を解析し関係各
機関へ提供、Web上でも配
信し、復旧復興に寄与しま
した。

地理空間情報の収集・解析・活用において
高い技術力と実績を持つパスコは、世界でナ
ンバーワンの地理空間情報サービス企業を
めざし、安心で豊かな社会システムの構築に
取り組んでいます。

不動産開発・販売事業

セコムホームライフ(株)では、「安全・安心
で高品質なマンション」をコンセプトに、“高
度なセキュリティ”、“充実した防災対策”、“入
居後の快適な暮らしのサポート”を実現した
「GLORIOマンションシリーズ」を首都圏を中
心に開発・分譲しています。

その代表格が「グ
ローリオ 蘆花公園」
(東京都世田谷区)で
す。「安全・安心な住ま
い」、「自然との共生」
、「ゆとりある分棟配置」
、「充実した共用施設」
が評価され、(社)全国住宅建設産業協会連
合会の「優良団地表彰」を受賞しています。



情報通信・その他の事業

セコムトラストシステムズ(株)では、高い技
術力、堅牢で強固なサービスインフラ、24時
間365日の有人対応を生かした情報セキュリ
ティと大規模災害対策を中心に、トータルな
情報通信事業を展開しています。

情報セキュリティでは、社会的な脅威となっ
たサイバー攻撃への対策サービスを本格的
に展開。外部への通信監視や異常事態が発生
したときに情報セキュリティのプロが駆け付け
るサービスや、電子証明書の発行、お客様の
情報資産をお預かりする「セキュアデータセン
ター」サービスなどを提供しています。

また、紙文書の電子化で業務効率の大幅な
向上とコスト削減をサポートする「セコムあん
しんエコ文書サービス」といった業務運用支
援サービスも提供しています。

大規模災害対策では、災害発生時に社員と
家族の安否や被災地の状況を確認する「セコ
ム安否確認サービス」、取引先の被災状
況を確認する「セコム安否確認サービス
SCM」、海外の社員の安否を確認する「セコ
ム安否確認サービスGS」を提供しています。

そして、セコムグループが連携し、大規
模災害に備える事前準備と、災害発生から復
旧までの対応策を
提案する「危機管理
支援トータルサービ
ス」の提供も開始
しました。



高度化・複雑化する情報通信ネットワー
クへの脅威に対して、コンサルテーションからソ
リューションの提供まで、お客様のニーズに
合ったサービスを提供しています。

セコムグループが総力をあげて 東日本大震災の復旧・復興を支援

セコムグループは地震発生以降、総力をあげて被災地の復旧・復興支援に努めています。特に地震発生直後には、全国から大勢の社員を派遣し、お客様の安全確認に全力を投じました。また、各地の避難所にマスク500万枚と手指消毒剤1万リットルを無償提供しました。

そして、グループ会社であるセコム医療システム(株)は、同社の提携病院の医療スタッフとともに、緊急災害医療援助チームSDMAT(Secom Disaster Medical Assistance Team)を発足。被災地や避難所などで医療救護活動を実施しました。

また、地理情報サービスを提供する(株)パスコは、レーダー衛星の撮影データなどを使い、被災地全域の情報収集・処理を行い、関係各機関へ情報提供を行うなど、グループ各社ができる支援を積極的に行ってきました。

さらに、海外のグループ会社からも、被災したセコムの社員とその家族を勇気付けようと、義援金や応援メッセージなど、多くの励ましと支援が届けられました。

セコムはこれからもグループ一丸となり、復旧・復興支援活動を続けていきます。

英国セコムPLCからも温かいエール



日本初、大切な写真や個人情報を預かる 「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」を発売

セコムは、これまでのホームセキュリティの概念を変え、画期的なホームセキュリティを開発し、12月15日から発売します。

「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」は、東日本大震災で被災された方々が、「大切な家族の写真が流された」、「自分が服用していた薬がわからない」など、大切な情報などをなくされてお困りだったことから、今後このようなことがないように、と考えて開発しました。

主な特長は、①大切な写真や服用中の薬の情報などを、セコムがお預かりする「データお預かりサービス」②セコムと提携した企業から生活に役立つ情報をホームコントローラー上に表示する「マイページサービス」③家族や親戚の間で「データお預かりサービス」でお預かりした画像や伝言などを共有できる「データ共有機能」が備わっていることです。

このほかにも、ご家族への伝言をホームコントローラーに記録・表示し、伝言が確認されると電子メールアドレスにお知らせする機能や、セコムグループが提供するサービスの申し込みや手続きがホームコントローラー上で行える機能もついています。

セコムはこれからも社会の「困った」にお応えするサービスを開発し、提供してまいります。



「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」のホームコントローラー

グループのノウハウを結集しBCPを総合支援 「危機管理支援トータルサービス」を開始

セコムグループは、グループのノウハウを結集して、企業向けにBCP(事業継続計画)を支援する「危機管理支援トータルサービス」を開始しました。

東日本大震災の発生により、東北地方に店舗や事業所、工場を持つさまざまな業種の企業が生産やサービスの停止を余儀

なくされ、経済活動をいかに継続していくかが、改めて大きな課題として浮き彫りになりました。

これまでセコムグループでは、セキュリティ、防災、地理情報サービス、情報系などの各事業分野のグループ企業が、危機管理の分野で多様なシステムやサービスを提供してきました。そして、5月に発足

した「ALL SECOM営業プロジェクト」の取り組みでは、グループ各社の危機管理に関する経営資源をさらに結集。

「危機管理支援トータルサービス」は、BCPに関わる事前準備、災害発生、初動対応、復旧に至るまでワンストップで提供できる画期的なBCP支援サービスです。

本サービスの提供で、BCPのニーズに的確にお応えしていきます。

写真上: セコムトラストシステムズ(株)の「セキュアデータセンター」内にある監視センター
下: (株)バスコが提供する「帰宅支援マップ」



「セコムシニア倶楽部藤が丘」と 「セコム在宅総合ケアセンター久我山」がオープン

セコム医療システム(株)は、4月1日に通所介護サービス(デイサービス)の4つ目の拠点、「セコムシニア倶楽部藤が丘」を横浜市緑区にオープン、さらに6月1日に訪問看護と介護を1つのセンターで一体的に提供する「セコム在宅総合ケアセンター久我山」を東京都杉並区に開所しました。

「セコムシニア倶楽部」は「充実の大人時間」をコンセプトに、地域のご高齢の方々の生きがいづくりを支援する、カルチャースクールのような、専門性の高い多彩な通所介護施設です。

「セコムシニア倶楽部」では、比較のお元気な高齢者の方に、さまざまなプログラムを提供するとともに、同世代の方々と交流の場を提供しています。

「セコム在宅総合ケアセンター久我山」には、訪問看護サービスと訪問介護サービスの両方を提供できる体制が整っており、まさに総合的な在宅医療サービスを提供できるようになっています。

今後もセコム医療システム(株)は、施設とスタッフの両面を充実させることで、お客様に、よりきめ細かいメディカルサービスを提供していきます。



写真上:「セコムシニア倶楽部
藤が丘」
下:「セコム在宅総合
ケアセンター久我山」

大規模施設だからこそ発生する様々なニーズに セコムグループの技術力を結集して応える

● メインの業務を一言でいうと…。

大規模ビルや工場、官公庁施設、PFI刑務所などに対して、セキュリティ、出入管理、設備制御を総合した安全管理システム「トータックスZETA」(以下、ZETA)を提案するのが役割です。しかし、単にシステムを導入するだけでなく、必ずお客様から「こんなことをしたい」という要望をいただきますので、それを実現するシステムを開発し、「ZETA」に組み込んでいます。

● お客様向けにカスタマイズする具体例を教えてください。

たとえば、カスタマイズの要望で多いのが、ICカードをお客様のニーズにあった管理方法に変えたいというものです。

「ZETA」はワイヤレスICカードを標準採用していますが、このICカードを1つの施設だけでなく、支店や工場などでも使いたいという声や、施設間をネットワークでつなぎ、どこでも出入履歴やカード操作履歴などを見たいという声があります。また、カードのデータベースを一元管理したいという要望もあります。つまり、私たちの主な仕事は、ICカードの共有化、ネットワーク化、データベースの共有化の3つにからんだ設計を通して、お客様の要望に合ったシステムを提供することです。

● SI事業部ではシステムの設計も行うのですか。

まず、お客様の要望を実現する方法と手順を「仕様書」にまとめます。そして、カスタマイズが必要な場合、SI事業部の設計者がシステムを設計します。

カスタマイズする上で、新たな開発が必要な場合、セコムグループの他の技術者との連携が不可欠です。お客様の要望によってはセコムIS研究所や

第4回

セコムの研究開発

R&D

SI事業部

SI事業部 SIシステム部
部長 小林洋一

セコムが常に日本のセキュリティ業界をリードし続けてきた理由は、独自の研究開発体制で、新しいシステムを世の中に送り出してきたことにあります。今回は、総合安全管理システム「トータックスZETA」の普及に取り組むSI事業部をご紹介します。



Yohichi Kobayashi

開発センターとともにソフトウェアの開発や、ハードウェアの開発・改良を行います。また、情報系のグループ会社、セコムトラストシステムズ(株)に情報システムの構築を依頼することもあります。このような研究開発体制があるのは私たちの大きな強みです。

● お客様の評価はいかがですか。

「セコムはこんなことまでできるんですね!」と、セコムの開発力に驚かれるお客様がいらっしゃいます。私たちの強みは単に機器を売るのではなく、機器をレンタルし、トータルなサービスを提供していることです。ですから、納品後も24時間365日の運用と保守管理までをセコムが行い、万一、システムが停止した場合でも訓練された対応要員が対応するので、高い評価をいただいています。

「セコム・ホームセキュリティ」のさらなる普及に努めながら、 お客様に気軽に相談していただけるショップをめざす

● 「セコムショップ」の役割はどのようなものですか。

一般に、セキュリティ会社というと、近寄りたくないイメージがあります。そのイメージを、住宅街の中にお店を構えることで払しょくし、身近なものに感じていただく。そして、お客様に何か困ったり、不安に思われることがあれば、気軽に相談していただく。そうした役割と合わせて、「セコム・ホームセキュリティ」をさらに普及させるという役割を担っています。

第4回

セコムのフィールド
Field
セコムショップ

セコムのセキュリティシステムは、

安全のプロによるサービスがその質を決めます。

「セコム・ホームセキュリティ」の普及を使命とし、全国60カ所で、地域密着型の営業を展開している「セコムショップ」をご紹介します。

● 営業活動の取り組みについて教えてください。

「セコムショップ学芸大学」が担当しているエリアは、東京都品川区全域と自由が丘近辺を除いた目黒区、世田谷区の一部です。スタッフは私のほかに事務担当1名、セキュリティアドバイザーが4名です。セキュリティアドバイザーは、担当地区を回り、飛び込み訪問もしますし、各種ご案内や新商品などのご提案のために、既存のお客様も訪問します。

また、最新の住宅情報を持っているハウスメーカーや設計事務所にも足を運び、ホームセキュリティのご案内を行います。これは、ホームセキュリティを導入される方のなかには家を新築する、リフォームする、引っ越しをするといった機会にご検討いただく方がいらっしゃるからです。このような方で暮らしに不安を感じている方がいらっしゃれば、紹介していただくようにしています。

● お客様に接する際に心がけていることはありますか。

「心配事」や「お困り事」を気軽に相談していただくためには、私たちが信頼していただくことが大切です。そのためスタッフ全員が、信頼を生み出す「誠実さ」、「責任



セコムショップ学芸大学
店長 小野有紀子

Yukiko Ono

感」、「機敏性」を常に心がけるようにしています。

私たちはセキュリティだけでなく、生活支援、健康・医療・介護、保険などの分野でもサービスを提供していますので、お客様の悩みの多くを解決できます。お客様と長く、そして深くお付き合いさせていただくこと。それも私たちの大事な役割です。

● セコムに対するお客様の評価はいかがですか。

セコムは、「セキュリティ業界のパイオニアであり、リーディングカンパニーだから安心」という声をよくいただきます。また、ホームセキュリティをご導入後、「やっと安心して寝られるようになった」というお言葉もいただきます。

こうした評価は、「安全・安心」を提供する最前線で働いている私たちにとって、責任の重さを実感するとともに、大きな励みになります。

10月13日から新テレビCMを放送 テーマ曲をMISIAさんが熱唱、大きな話題に

セコムの新テレビCM「世界の笑顔」篇が、10月13日から放送開始されました。“世界の”というタイトルにもあるとおり、CMの制作にあたっては、セコムがセキュリティ事業を展開している12の国と地域の中から、シドニー（オーストラリア）、シンガポール、ジャカルタ（インドネシア）、バンコク（タイ）で撮影を行いました。

CMは各国のセコムグループ会社のご契約先や街並み、お客様の笑顔、世界的な名曲「この素晴らしき世界（What a Wonderful World）」に乗せて展開されます。「この素晴らしき世界」は人気女性ミュージシャンのMISIAさんによって今回新しくカバー・録音されたものです。

美しい映像と心に沁み入る音楽で、セコムの上質感を伝えるこのCM。MISIAさんによる楽曲という話題性も兼ね備えたものになっています。

CMはテレビ朝日系列で放送中の「報道ステーション」をはじめ、セコムが提供するテレビ番組で放送されています。また、セコムウェブサイトの「CMライブラリー」ではより見ごたえのある60秒バージョンもご覧

いただけます。



CMに登場する、オーストラリアのバレエスクール

世界最古の“ジーンズ”をセコムが守る 「リーバイス」とパイオニア同士のコラボ実現

10月13日から16日まで東京・渋谷のリーバイ・ストラウスジャパン(株)様の「リーバイス®ストア渋谷店」で、世界最古の“ジーンズ”「XX c.1879」が日本で初めて一般公開されました。この貴重な“ジーンズ”のセキュリティをセコムが担当し、話題になりました。



一般公開に先駆け、12日には同店で「XX c.1879」ほか3本を報道陣向けに公開する記者発表会が行われました。

最古のジーンズ「XX c.1879」登場の際には、セコムの常駐隊員がジュラルミンケースを持参、その中から“ジーンズ”が取り

出されると、一斉にフラッシュが浴びせられました。

多くのメディアが集まったこの記者発表会では、セコムのセキュリティにも注目が集まり、レーザーによる屋外侵入監視センサー「レーザーセンサー」や防犯合わせガラス「SECOMあんしんガラス」、位置情報提供システム「ココセコム」などにも取材が相次ぎました。



3本の世界的に貴重な“ジーンズ”を安全に管理するセコムの様子は翌朝の複数のテレビ局で紹介され、それぞれがパイオニアとしての強みを大きくアピールすることができました。

写真上：店内にはセコムのセキュリティシステムと常駐隊員を配置
下：セコムの最新のセキュリティで守られた最古のジーンズ「XX c.1879」

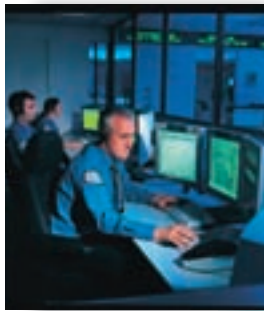
唯一無二の高品質なサービスが市場で受け入れられ イギリスで3本の指に入るセキュリティ会社に成長

犯罪発生率が日本の6倍で監視カメラの設置台数は世界一と言われるイギリス。セコムがイギリスで本格的にセキュリティ事業を開始したのは、セコムPLCを設立した1996年です。

イギリスでは一般的に、セキュリティ機器の販売・設置会社とは別の会社が日々の異常信号の監視業務を行い、異常発生時には、利用者と警察への通報業務を提供します。しかし、この分業の弊害として関係者の責任範囲が明確でないということがあります。

たとえば、利用者の機器に誤作動があるとセキュリティ会社ではなく利用者と警察に連絡されるため、利用者と警察に大きな負担がかかります。このためセキュリティ会社が機器の品質を改善し、誤作動を撲滅させようとする意識が働かないという問題が内在していました。

そこでセコムは「既存のセキュリティ会社が提供するのとは機器の販売または異常信号監視業務、セコムが提供するのとはお客様の側に立ちセキュリティ対策のご提案から始める「安



London

全・安心」というサービスである」と、他社との違いを明確にし、徹底してサービスの品質向上に取り組んできました。

この考え方にもとづき、セコムPLCはイギリス社会の信頼を積み重ね、今日ではイギリス全土で、空港、商業

施設、公共施設、企業、ご家庭にと幅広くセキュリティを提供し、契約件数で同国3位のセキュリティ会社に成長しています。

さらに今年4月、セコムPLCは同国四大メガバンクの一つ、RBS銀行から約2,000店舗の契約を受注。また、6月に同じく四大メガバンクの一つ、HSBC銀行の約1,500店舗にセキュリティを提供するキャピタルQハイセキュリティサービスLtd.を買収。こうして専門性の高い技術や対応が要求される金融機関向けセキュリティ市場に本格参入しました。

セコムがめざしている高品質なサービスを武器に、他社との差別化を図るセ

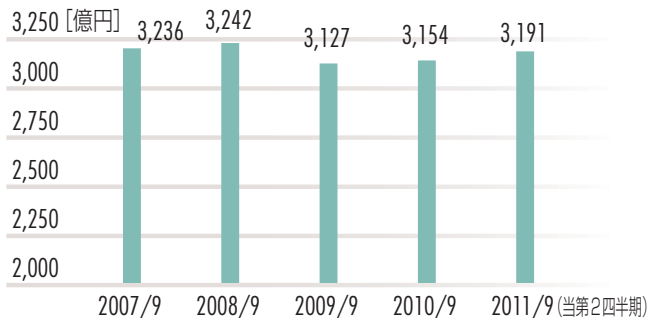
コムPLCは、着実にイギリスのセキュリティ市場での存在感を高めています。



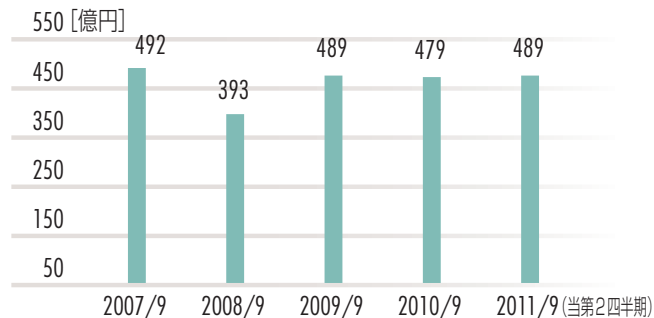
写真左上:セコムPLCのコントロールセンター
右下:セコムPLCのセキュリティスタッフ

連結決算 業績ハイライト — 第2四半期累計

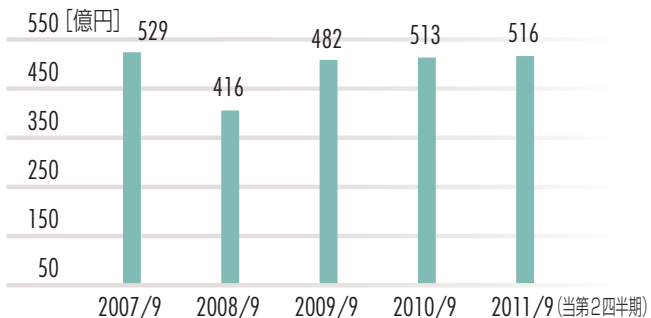
売上高



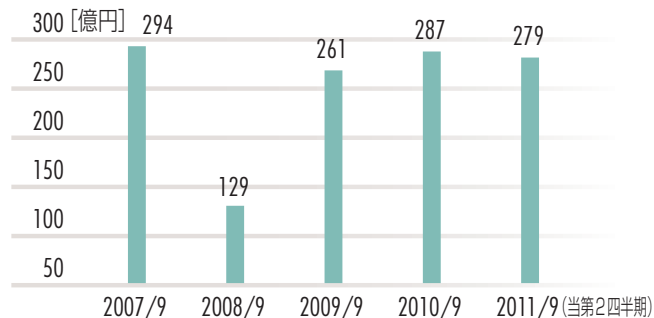
営業利益



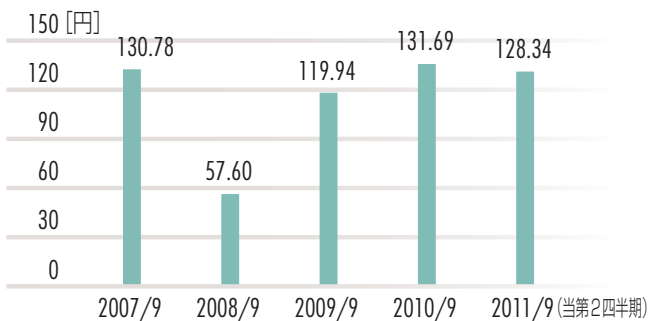
経常利益



四半期純利益

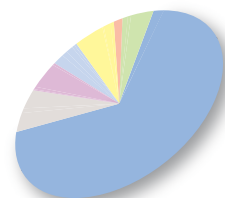


1株当たり四半期純利益



事業別売上高内訳 2011/9 (当第2四半期)

● セキュリティサービス事業	2,059 [億円]	64.5%
● 防災事業	323	10.1%
● メディカルサービス事業	209	6.6%
● 保険事業	175	5.5%
● 地理情報サービス事業	220	6.9%
● 不動産開発・販売事業	30	1.0%
● 情報通信・その他の事業	172	5.4%



連結貸借対照表(要旨) — 第2四半期末

2011年9月30日現在

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	4,919
現金及び預金	1,725
現金護送業務用現金及び預金	527
受取手形及び売掛金	600
未収契約料	228
有価証券	166
リース債権及びリース投資資産	156
たな卸資産	279
販売用不動産	575
繰延税金資産	120
短期貸付金	33
その他	505
固定資産	5,911
有形固定資産	2,866
建物及び構築物	1,029
警報機器及び設備	656
土地	985
その他	194
無形固定資産	253
投資その他の資産	2,791
投資有価証券	1,685
長期貸付金	467
前払年金費用	188
繰延税金資産	204
その他	244
繰延資産	0
資産合計	10,831

負債の部

流動負債	1,973
支払手形及び買掛金	249
短期借入金	401
一年内償還予定の社債	49
未払金	199
未払法人税等	209
前受契約料	312
その他	550
固定負債	2,229
社債	113
長期借入金	138
長期預り保証金	383
退職給付引当金	128
保険契約準備金	1,306
その他	159
負債合計	4,202

純資産の部

株主資本	6,335
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	5,577
自己株式	△736
その他の包括利益累計額	△320
少数株主持分	614
純資産合計	6,629
負債純資産合計	10,831

連結損益計算書(要旨)―第2四半期累計

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当第2四半期 (2011年4月1日から 累計(2011年9月30日まで))	前第2四半期 (2010年4月1日から 累計(2010年9月30日まで))	増減率
売上高	3,191	3,154	1.2%
売上原価	2,008	1,977	
売上総利益	1,182	1,177	0.4%
販売費及び一般管理費	693	698	
営業利益	489	479	2.1%
営業外収益	63	66	
営業外費用	35	32	
経常利益	516	513	0.7%
特別利益	2	12	
特別損失	11	32	
税金等調整前四半期純利益	507	492	3.0%
法人税、住民税及び事業税	208	181	
法人税等調整額	2	8	
少数株主損益調整前四半期純利益	296	302	△ 2.1%
少数株主利益	16	15	
四半期純利益	279	287	△ 2.5%

営業の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における売上高は3,191億円(前年同期比1.2%増加)、営業利益は489億円(前年同期比2.1%増加)となりました。経常利益は516億円(前年同期比0.7%増加)、四半期純利益は279億円(前年同期比2.5%減少)となりました。

会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数(グループ総数) 47,741名(2011年3月31日現在)
- 事業内容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車輜向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、社会にとって安全・安心で、便利で快適なサービスシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

取締役(2011年11月30日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
取締役(最高顧問)	戸田壽一
取締役会長	木村昌平
取締役副会長	原口兼正
代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
専務取締役	小幡文雄
常務取締役	桑原勝久
常務取締役	中山泰男
常務取締役	伊藤 博
取締役	伊東孝之

監査役(2011年11月30日現在)

監査役(常勤)	荻野輝雄
監査役(常勤)	坂本正治
監査役(社外)	常松 健
監査役(社外)	安田 弘
監査役(社外)	山下耕平

* 監査役 常松健を独立役員として証券取引所に届け出ております。

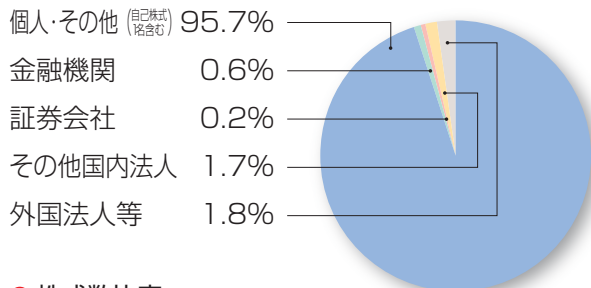
執行役員(2011年11月30日現在)

代表取締役社長	前田修司
取締役副社長	佐藤興一
専務取締役	小幡文雄
常務取締役	桑原勝久
常務取締役	中山泰男
常務取締役	伊藤 博
常務執行役員	小河原俊二
常務執行役員	中村直英
執行役員	高岡 実
執行役員	森下秀生
執行役員	小松崎常夫
取締役	伊東孝之
執行役員	小松良平
執行役員	角田幸生
執行役員	竹田正弘
執行役員	吉村輝壽
執行役員	新井啓太郎
執行役員	吉田保幸
執行役員	布施達朗
執行役員	園田博道

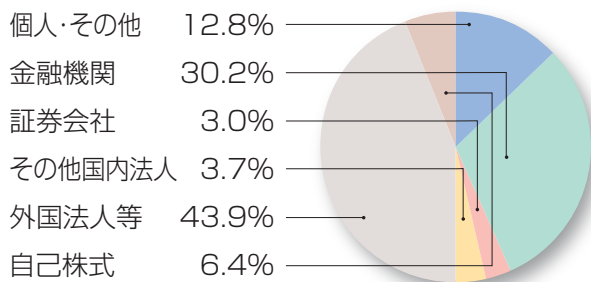
株式の状況(2011年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 単元株式数 100株
4. 株主数 29,888名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



表紙写真のご説明

ココセコム
オペレーションセンター
(東京都三鷹市)

GPSと携帯電話の基地局の電波を使い、人や車、物などの現在位置を検索したり、非常時にはセコムに通報できる屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」。当センターでは、「ココセコム」の通報信号の監視をはじめ、ご契約者様からのご要請にもとづく位置情報の検索・提供を24時間365日行っています。



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月下旬
- 剰余金配当の基準日 3月31日
- 中間配当制度 なし
- 上場証券取引所 東京、大阪
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告

<http://www.secom.co.jp/koukoku/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

- 株主名簿管理人 特別口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種お手続きについて

証券会社に口座がある
株主様は…

▶ 口座がある証券会社へ
お問い合わせください。

特別口座に記録されている株式の
株主様は…

▶ 下記の特別口座管理機関
三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。

未払い配当金のお支払いに関する
お問い合わせは…

▶ 下記の株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関 **三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部**

〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号

☎ 0120-232-711 [平日 9:00~17:00]

手続用紙のご請求

☎ 0120-244-479 (音声自動応答)

インターネットからのダウンロード <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>